

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 081	提案機関名 神奈川県山林種苗協同組合
要望問題名 新たなコンテナ培土の開発について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在、コンテナ培土は、ココピートオールドを中心に調整されているが、500/1袋当たり千数百円プラス配送料がかかるものや、400/1袋当たり千円弱プラス送料、1500/1袋当たり2千数百円プラス運賃などである。 コンテナ1個当たり約0.3リットル必要で、1万本生産では3,000リットル使用します。5万円～8万円掛かります。最も多い作付け生産者は、約3万本で15万円～24万円の資材費用となります。今後のコンテナ苗木使用料は倍以上の需要が予測されています。また、ココピートオールドは輸入品で先々輸入量が限定されると言われています。 このため、バーク堆肥、おが粉、竹チップパウダー、廃菌床などの未利用地域資源により、低価格で環境にやさしい新たなコンテナ培土の開発をお願いします。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究企画部
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ご要望の内容は、コロナ下におけるココピートの物流の停滞により課題となったものですが、コンテナ苗木の普及に伴い全国的な課題になっています。9月に実施された関東・中部の研究機関と情報交換を行った結果、ピートモスやバーク堆肥の検討が行われており、ピートモスはココピートオールドと差がない旨の結果が得られたとのことであった。今後とも情報の収集、提供に努めてまいります。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			